

# 第 8 回（令和元年度第 2 回）経営評価委員会 議事録

令和元年 11 月 18 日（月）午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分  
和泉市立総合医療センター3 階 講堂

出席委員：高杉委員長・鹿島委員・露口委員・楨野委員・吉岡委員（5 名）

内 容：

## 議題 1. 令和元年度 運営状況（4 月～9 月）について

指定管理者から「資料 1 和泉市立総合医療センター運営事業 令和元年度 運営状況（4 月～9 月）」に沿って、令和元年度上半期の運営状況について報告を行った。

- 1 日あたりの患者数は入院が 310 人、外来患者数が 945 人となり、それぞれ前年度比で 16 人、165 人の増加となった。
- 病床稼働率は 100.9%で、前年より 5.1%増。新改革プランの目標値 95%を上回った。
- 診療単価は、入院は 59,466 円、外来は 18,761 円となりいずれも前年を上回っている。
- 救急患者数は 7,404 人となり、前年度より 10.0%増加した。
- 和泉市消防本部からの救急搬送件数は 1,201 人となり、前年度比で 58 人（5.1%）増加した。和泉市消防本部全体の搬送件数は 4,571 人で前年度比 85 人（1.9%）の増加となった。
- 平均在院日数は、全診療科で 11.5 日であり前年度比で 0.7 日短縮された。今後さらに短縮をほかりたい。
- 患者紹介率は 65.7%、逆紹介率は 57.5%となり前年度と比較し、ともに増加した。
- 人間ドックではスタッフの増員、実施枠の増加により 742 件で、前年度比 384 件（107.3%）の増加となった。特定健診は 908 件、前年度比 8 件（0.9%）の増加となった。
- 常勤医師は 99 名に増員となった。血液内科、消化器外科で医師が増加した。
- 患者サービスの向上に係る取り組みとして前年度から医療講座等の継続実施、新規事業として災害時医療訓練の実施を予定している。
- 医業利益 569 百万円、税引前利益 714 百万円となり、目標値を上回っている。

上記報告に関して、委員から以下の質疑等があった。

（委員）

和泉市消防本部の救急搬送件数が、市立総合医療センターは前年度に比べて 5.1%増えており評価できるが、市外搬送件数も 10.9%増えているのはなぜか。

（指定管理者）

市立総合医療センターは、救急の専門医が確保できていないなど受入体制が完全には整っておらず、病床稼働率が高く救急患者を受けきれていない現状があるが、可能な限り、市内の患者を受け入れる努力をしたい。

(委員長)

今後の方向性については、市内の患者を多く受け入れるために、医師等を含めた救急の体制を整えること、また、現在満床である病院の病床稼働率を少し減らして、救急患者を増やすことも検討する必要がある。

(委員)

現在の病院の混雑状況では1人の患者あたりにかける時間が短くなったり、本当に必要な患者を診察することができないなどサービスの低下につながるものが懸念される。予約のない人や紹介状がない人は受け付けしない等の方法を検討する必要があるのではないかと。

(指定管理者)

最終的に市立総合医療センターで診察する必要がある患者も多く受付を減らすことは難しい。外来ブースを増やすこともできない現状もある。当院としては、逆紹介率を向上させることが必要であると考えている。

(委員)

逆紹介率が前年の32.0%から57.5%になっているのは大変良い結果である。しかし、まだまだ改善の余地はあると思う。

(指定管理者)

逆紹介率に関しては、努力の結果が現れており、70%を目標にしている。在院日数についても減らす努力をしているが、10日が限界である。

(委員)

紹介率、逆紹介率を上げるためには、市立総合医療センターの予約状況を他病院からすぐ見ることができ、空き時間に予約をすることができるシステムを相互の病院に導入できれば、もっと飛躍的には伸びるのではないかと。

(委員長)

単年度で見ると、紹介率、逆紹介率は相当な努力によって飛躍的に上がっている。その努力を確保しながら、今後の課題として委員のアドバイスを参考にしてほしい。

(委員)

外来患者が増えているが、外来の待ち時間については改善されているのか。具体的な数字で示してほしい。

(指定管理者)

受付から診察へ進む患者の4月から9月のデータをもとに調査した結果、7万件が予約患者、2万1千件が予約外の患者であり、8割弱の患者が予約患者であるということがわかる。予約患者のうち49%が予約時間までに診察室に呼ばれている。51%が予約時間の後で診察室に呼ばれており、予約した時間からの待ち時間は約25分であった。また、予約なしの患者の平均待ち

時間は約 50 分である。

(委員長)

予約患者で 25 分以内であれば、それほど長く待たせているということはないが、予約時間を 10 分間隔にするなど、工夫の余地はある。

(委員)

先日、厚労省から発表があった公立病院再編の件で、市立総合医療センターが対象となっており、テレビでも取り上げられているが、現状はどうか。

(指定管理者)

対象となったデータは市立総合医療センターにて運営する前のものであり、現在の状況とはかけ離れたものである。現在、大阪府と協議をしているところである。

(委員)

来院者が不安になる。反論すべきである。

(事務局)

国のデータは平成 29 年度のデータで、指定管理制度を導入したことや、経営改革したことは一切反映されておらず、すぐに反論したいところであるが、今やと大阪府から議論したいという話が出たところである。今後、大阪府が 30 年度のデータを分析して、和泉市に提示することになっている。

(委員長)

今回の厚生労働省の発表は、現在のデータに基づいておらず、地域の実情を考慮していないと思っている。協議の場があるので、しっかり反論をしてほしい。

## 議題 2. 令和元年度進行管理（PDCA）チェックシート兼経営評価シートについて

事務局から「資料 2 令和元年度進行管理（PDCA）チェックシート兼経営評価シート」に沿って指定管理者の自己チェック、市の評価を報告した。

- 今回の評価では、指定管理者の評価、市の評価ともに総合評価は 64 点満点で 60 点、100 点換算で 94 点となった。
- 今回項目 4 と 16 が「3」評価から「4」評価へ見直されたことにより、全 16 項目中 12 項目が「4」評価となった。

以上の報告に対し、以下の質疑等があった。

(委員)

評価項目 8「地域医療機関との連携強化はなされているか」という項目について、紹介率・逆紹介率の指標を挙げているが、数値がどこまで上がれば、評価「4」になるのか。

また、他に地域医療機関との連携を図るために共同でPRすることや、合同で医療講習会をするなど、連携強化するという指標もあって良いと思うが、どのような基準で判断すればよいか。

(指定管理者)

この項目については、現在、医師会、地域の医療機関との関係も良好であるが、数字として表せる指標が紹介率・逆紹介率だけとなっており、現在、目標値に達していないため、自己評価は「3」としている。

(委員長)

この指摘には2つの見方がある。一つは紹介率、逆紹介率ともに、前年度より数値が上がったということの評価するのか、もう一つは、地域支援型病院を目標とした紹介率、逆紹介率の数値を基準に評価をしているのか、ということである。

(指定管理者)

目標は地域支援型病院である。紹介率、逆紹介率ともに、急激に上げることは難しい。地域の先生と情報交換会や研修会を行い、数値を上げる努力をしているが、目標値にはまだ到達していない。

(委員)

2年前の旧市立病院の数値とでは、比べ物にならないくらい上昇している。評価は、「4」に近い「3」であると思っている。

(委員長)

私たち委員も、指定管理者の努力の結果、数値が上昇したことを高く評価している。更に高い目標に向けて努力している過程で、自身の評価を「3」としていると認識している。

(委員)

参考資料2の診療科別紹介患者数は紹介率の資料となっているが、逆紹介率がわかる資料は作成することができるのか。

(指定管理者)

逆紹介率の資料も提出できる。

(委員)

血液内科の紹介率が昨年から約70%減っているのはなぜか。

(指定管理者)

血液内科は去年の4月に当センターで開設され、近大堺病院の先生方が来られた。自分の患者を自分で当センターへ大量に紹介したため去年の数字が高くなった。今が正常値である。今の数値は泉州地域の他病院から紹介を受けたものである。

(委員)

逆に小児科の紹介率が上がったのはなぜか。

(指定管理者)

新病院となり、医師や医療機器が充実したことにより病院全体が活性化されたことと、地域の医師にできるだけ紹介状を書いていただくよう個々に依頼していることにより、効果がでてきたと認識している。

(委員)

紹介率と逆紹介率の数値を比較し、個々に見れば、今後の改善点や方向性が見えてくると思う。

(委員長)

次回の評価委員会で、逆紹介の資料も提出するよう依頼する。

(委員)

現在の経営、理念、活動報告ともに良い方向となっている。

このような状況を年3回、経営評価委員会で評価する必要があるか検討する時期である。他の外部評価は年に2回行っているところが多い。1回減らして年に2回とし、指定管理者には病院業務に専念してもらってはどうか。

(委員長)

経営評価委員会として議論するというのではなく、指定管理者と行政機関が回数を協議してもらえればと思う。他になければ、本日の議事は以上で終了とする。

(事務局)

委員長はじめ委員の皆様、長時間ありがとうございました。

(副市長から閉会にあたり挨拶を述べる。)

事務局から、次回委員会について次のとおり報告した。

- 次回の委員会は令和2年3月頃を予定。
- 議題は令和2年度の事業計画及び令和2年1月末までの中間評価。